

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第31号 平成22年 9月20日

瀧本新捕手候補だ！ 政司は104球完投勝利！

チームの雰囲気負けを感じず！

	1	2	3	4	5	6	R
R	0	0	0	5	0	0	5
G	1	0	4	1	3	*	9



9/18(土)入船公園野球場にレジスタンスを迎え、オープン戦を行った。快晴であるが、今までの暑い暑さは感じず、少しずつ秋が迫ってきている感じがした。さて、ゲームは、我がチーム後攻、先発は政司でゲームは始まった。初回先頭打者を三ゴロで一死かと思った矢先、ジャッジは、正しい捕球と判断されず出塁、その後は三飛で一死、しかし、次打者に中前に運ばれ、一死1・2塁、WPで、それぞれ進塁を許すも、後続2打者を投飛・空三振とびしゃりと抑え、初回を0封にした。翌我がチームの攻撃、今日2番に入った瀧本が四球を選択、続く打者の打球で3塁へ、そして2試合連続で4番に座った哲也が、ラッキーな二前安打で先制した。翌2回の相手攻撃、安打と2つの失策で、一死1・3塁とまたもや相手得点のチャンス、しかしここも政司が三振と左飛で押さえ、またもやホーム踏まず。翌3回の我がチーム攻撃、1番・2番が共に出塁、そしてDSで無死2・3塁、ここで、3番深沢、「ここで打たなければクリーンアップでは無い」と感じた3球目を中越に運び2人を返した。また、首位打者林の安打で、深沢もホームに帰り、この回一挙4点を挙げ、5：0と勝利を手中にした、と思われた4回の相手攻撃、3つの長短打と2つの失策で、同点に追いつかれてしまった。しかし、一昔前は、ベンチはしゅーん、打線はチンマリだったが、今の我がチームにはそのような状況は一切ない。取られたら取る、その思いとおりその裏の攻撃、先頭の達脇が懸命な走塁で出塁、続く打者打球の間に走者は入れ替え、そして、今日で2試合目の出場となる、準構成員の荒木が初球をセンターに鋭い打球を放つ、びっくりしたのが野手はグラブからボールをポロリ、この間一挙2塁から政司が生還、これで、またもやリード、そして、翌5回の攻撃、4つの長短打で3点を挙げ、今日の1試合目のゲームを決めた。振り返ってみると、やはり今日は、バッテリーの頑張りやに打線が応えた。という内容ではないだろうか？ダブルであるだけに、山田にマスクはコクな話、では誰がマスクをかぶるか？「タッキーやるかい？」「はい」と2つ返事で、チーム内捕手の危機を救った。そして、前回とは比べ物にならない落ち着き感、その姿勢が、政司の好投をも引き出したのでは無いのか？それにしてもいいムードですベンチは！この勢いで2試合目も勝利しよう！！